

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、積み期間の境目となる週であったものの、無担保コールO/N平均レートに特段の変化は見られなかった。朝方0.07%台前半で立ち上がり、一巡後は0.06%台前半での閑散な出会いに終始するという展開が週を通して続いた。無担保コールO/N平均レートは0.071~0.072%程度で推移した。当座預金残高は、税揚げ要因のあった15日を除き、概ね110兆円割れでの推移となった。ターム物は3月末越え物が散見されたものの、レート自体に変化は無かった。固定金利方式の共通担保資金供給オペは16日に3M物がオファーされ、落札3,000億円と札割れの結果になった。米ドル資金供給オペは14日に1本オファーされ、事務手続き確認と見られる応札が100万ドルあった。

今週は20日にTB3M・1Y発行超過、23日に5Y発行の資金不足要因がある。調達姿勢が若干強まる可能性もあるが、高水準の当座預金残高を背景に、無担保コールO/N平均レートは引き続き0.07%台前半で推移しよう。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週を通してファンディングレートが高止まりし、残存期間が短い1月・2月償還物は利回りが上昇する一方、6M物は0.06%、1Y物は0.055%近辺での出会いが見られるなど、逆イールドが鮮明な週となった。14日と17日には短国買入オペが各々2兆5,000億円ずつオファーされ、15日には1Y物、16日には3M物の入札が実施された。14日の買入オペは、先々週に入札が3回連続で実施されたこともあり、応札が7兆1,499億円と膨らみ、平均利回較差▲0.001%、按分利回較差▲0.002%、按分比率56.4%と落ち着いた結果となった。15日の1Y物入札は、平均落札利回0.057%、按分落札利回0.058%、按分比率96.6356%と、0.06%を下回る堅調な結果に。16日の3M物入札は 平均落札利回0.0637%、按分落札利回0.0661%、按分比率8.8687%の結果となり、セカンダリー市場では海外勢と思われる買いが入ったことで、0.062%まで買い進まれた。17日の買入オペは、平均利回較差▲0.001%、按分利回較差▲0.002%、按分比率87.7%と落ち着いた結果となった。週末の出会いには、1Y0.054% 6M0.0575~0.0580% 3M0.061~0.062%が見られた。

先週のCP市場は、20日にかかる発行となったことで、電気、鉄鋼、石油、小売を中心に幅広い業態からの発行があり、週を通じた発行総額は6,000億円強と、償還総額5,400億円を上回った。極端な低レートでの運用を行う投資家が少なかった事、今後のCP等買入オペのレートが底堅く推移するとの予想もあり、a-1+は0.08%、a-1格銘柄は0.09~0.10%中心の出会いとなった。

今週の短国市場は、21日に2M物、23日に3M物の入札が予定されている。2M物は0.07%台、3M物は0.06%台が予想されるが、いずれも堅調な応札となろう。CP市場は、21日にCP等買入オペが4,000億円ずつ実施予定となっている。概ね前回と同水準での決着と予想されるものの、按分利回が当面の発行レートに影響を与えられと考えられることから、結果が注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,700億円程度の還収超見通し。財政資金は、20日のTB3M・1Yの発行超過と23日の5Y発行を中心に6兆5,400億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で6兆2,700億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<20日>TB3M;償還36,000億円・発行57,000億円/TB1Y;償還14,000億円・発行25,000億円/エネルギー対策借入;期日3,000億円・新規4,000億円<21日>流動性供給;発行3,000億円<23日>5Y;発行27,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円<24日>TB2M;償還25,000億円・発行25,000億円

2013年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
1/20 (月)	1,700	△ 39,400	△ 37,700	全店共通(固) 国債買入 CP買入	△ 4,700 △ 300	3,000 7,000	5,000	△ 32,700
1/21 (火)	2,000	△ 2,000	0	短国買入		25,000	25,000	25,000
1/22 (水)	1,000	1,000	2,000	全店共通(固) 社債買入	△ 1,900	1,000	△ 900	1,100
1/23 (木)	△ 1,000	△ 27,000	△ 28,000				0	△ 28,000
1/24 (金)	△ 1,000	2,000	1,000	CP買入		4,000	4,000	5,000
週間合計	2,700	△ 65,400	△ 62,700		△ 6,900	40,000	33,100	△ 29,600

(注) 上表の1/20は日銀予想、1/21以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
1/20 (月)	11月の石油等消費動態統計 (経済産業省 13:30)		
1/21 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合 (1日目 14:00~)	TB2M 25,000億円 1/24発行	5Y 27,000億円 1/23発行
1/22 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合 (2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見 (15:30) 11月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00)		ECB (欧州中銀) 定例理事会
1/23 (木)	金融経済月報 (日銀 14:00)	TB3M 57,000億円 1/27発行	20Y 12,000億円 1/27発行
1/24 (金)			12月の米中古住宅販売

1/21 交付税借入10,500億円 1/30借入

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。